

# 鼓動 全中ファイナルへの



## Case.08 聖徳中学校 陸上競技部

〔陸上・4×100mリレー〕石川優空・加藤晴菜・田中瑛美莉・布施結衣子

### 順調に縮めたタイム

昨年8月の全中4×100mリレーで、和歌山の桐蔭中学校が10年ぶりに中学新記録を更新した。タイムは47.04秒。前の記録を0.26秒も縮める大記録だったが、驚くべきはチーム結成から3ヶ月でタイムを3秒以上も縮めた点。結成当初の5月はまだ50秒台。まさにシンデレラストoryだった。

今年の聖徳中学校リレーメンバーには、昨夏の桐蔭と同じような道を再現できる可能性があった。

昨年7月の通信陸上でメンバーを結成し、新人戦にあたる10月の秋季総体で優勝(50.87秒)。この3ヶ月でタイムを約1秒縮めた。

予定では、今年の春季総体で49秒台、リレーの滋賀県代表を決める7月の通信陸上で48秒台を出し、その勢いをもって全中ファイナルへと駆け上がるはずだった。だが、その全中が中止になった。

小学生の頃に全国を経験してきた第3走の田中瑛美莉(2年)は「私は2年生なのでまだ来年があるけれど、先輩は今年が最後。先輩とリレーを組めたのはうれしけど、こと複雑な心情を口にした。

聖徳中学の練習テーマは「全力を出しきる」と大園宗平顧問は話す。「1月のベスト、2月のベストという感じで毎月のベストを記録し、暖かくなるにつれてタイムを伸ばしていくイメージです」



加藤晴菜(前)と布施結衣子(後)

それだけでも十分な練習だが、この4人は休みの日に集まって自主練習も行ってきたという。

第1走の石川優空(3年)は「大会前は土日の部活がない日でも集まってバトン練習をしていました。みんな真剣に、全中の決勝を狙っていました」と振り返る。

アンカーの布施結衣子(3年)は「このメンバーで48秒台を出して全中に行くこと決めていた。そのために4人で頑張ってきたし、自信もあった。全中が中止になったのは残念で悔しい」と話す。

だが、キャプテンで第2走の加藤晴菜(3年)には、悔しさ以外の気持ちもあるようだ。

「冬にケガをして、メンバーに入れるか不安でツライ時期がありました。その時、3人が支えてくれた。全中で恩返しできないのは残念だけど、みんなのおかげでまた走れるようになりました。そのことは素直にうれいです」

約3ヶ月のコロナ自粛が明け、6月上旬に部活が再開された。全中はないけれど、一緒にバカみたいに笑ったり、泣いたりする日常は少しずつ戻ってきた。



田中瑛美莉



石川優空

### オープンスクール案内!

これまで取り組んできたICT教育の経験は、臨時休校中の全学年リモート授業に活かされました。中学校もひとり1台タブレット活用を開始予定!

比叡山高校 11.7 sat. 比叡山中学 11.1 sun.



延暦寺学園

比叡山高等学校  
比叡山中学校

〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-3-1  
Tel. 077-578-0091  
Fax. 077-579-3413

延暦寺学園

検索

